

対象クラス	1年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	生活産業情報 (実教出版)		
使用副教材	全商ビジネス文書実務検定模擬問題集(実教出版) 全商情報処理検定問題集 (実教出版)		

「生活産業情報」はこんな科目です。

生活産業における情報の意義や役割を理解し、情報の処理に関する知識や技術を取得するとともに、生活産業の各分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付けることを目指した「情報に関する基礎科目」です。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- ・コンピュータのしくみについて学び、ソフトウェアの基本操作を身に付けます。また、情報モラルや情報通信ネットワークの役割や収集した情報の管理やセキュリティの重要性について理解します。
- ・学習した知識と技術を家庭生活や生活産業の分野に活かすことができる能力と態度を育てます。
- ・全国商業教育研究会ビジネス文書実務検定に挑戦できるだけの力を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータによる情報処理に関心を持ち、意欲的に課題に取り組もうとしているか。 ・情報モラルとセキュリティ管理の重要性を知り、守ろうとしているか。 	授業態度 提出物の提出状況
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルとセキュリティ管理の重要性を知り、課題に取り組めるか。 ・コンピュータ利用上の注意事項がわかり、実習に取り組もうとしているか。 ・プレゼンテーションソフトの活用技術を身に付け、分かりやすい発表ができるか。 	授業態度 発表・提出物 検定
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語ワードプロセッサの基本操作を身に付けており、文書作成・編集・印刷ができるか。 ・表計算ソフトを使い、表計算・データの編集・グラフの作成ができるか。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作を身に付けており、プレゼンテーションの作成ができるか。 	定期考査 提出物・発表 検定
知 識 ・ 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アプリケーションソフトの基本操作を理解しているか。 ・コンピュータの機能や情報モラルとセキュリティ管理の重要性について理解しているか。 	定期考査 提出物 検定

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 情報化の進展と生活産業 第2章 情報モラルとセキュリティ 第3章 生活産業における情報活用 第4章 情報機器のしくみ 第6章 情報の処理・分析・発信 【前期中間考査】	1 情報化の進展と社会 2 生活産業における情報化の進展 1 ネットワーク社会の危険性 2 情報モラルとマナー 3 セキュリティ管理 1 生活産業における情報活用の意義 2 生活産業における情報活用の実際 1 コンピュータのしくみ 2 ハードウェア 3 ソフトウェア 1 日本語ワードプロセッサの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業情報を学ぶ目的を知り、学習意欲をもつ。 ・情報化の進展に伴う生活や産業の変化を理解する。 ・ネットワーク社会における危険性や問題点を理解する。 ・誰もが気持ちよく利用できるネットワーク社会にするためには情報モラルやマナーを守ることが大切であることを理解する。 ・セキュリティ管理の方法を知る。 ・生活産業における情報活用の意義と活用状況を知る。 ・コンピュータの基本的な機能と装置について知り、操作できる。 ・日本語ワードプロセッサによる文書作成・編集・印刷ができる。
前期期末	第6章 情報の処理 【前期期末考査】	1 日本語ワードプロセッサの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語ワードプロセッサを利用して文書作成ができる。
後期中間	第6章 情報の処理 【後期中間考査】	4 プレゼンテーションソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語ワードプロセッサを利用して文書作成・編集・印刷ができる。 ・プレゼンテーションソフトの機能について理解する。 ・プレゼンテーションソフトを活用して情報の発信ができる。
後期期末	第6章 情報の処理 【学年末考査】	2 表計算ソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを利用して表計算・データの編集・グラフの作成ができる。

